

DAIKEN

## 24時間換気システム「エアスマート」専用部材



形名	品名	グリル形状
SB1475 (R)	排気ファン11型 (中風量)	角形格子グリル
SB1485 (R)	排気ファン11型 (大風量)	角形格子グリル

形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

## 取扱説明書

お客様用

## お客様自身では取付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。  
なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになれる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 保証書は必ず「お買上げ日、工事店名」などの記入を確かめて、工事店からお受け取りください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

## 1. 安全のために必ず守ること

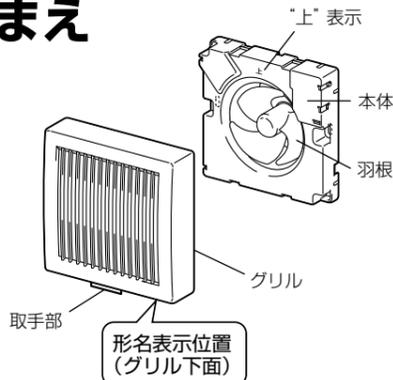
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。</li> </ul>	<p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがの原因。</li> <li>●24時間運転のためメンテナンス・長期不在時以外は電源を切らない 換気不足による健康障害のおそれあり。</li> <li>●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない 火災の原因。</li> </ul>
<p><b>水ぬれ禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。</li> </ul>	<p><b>接触禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。</li> </ul>
<p><b>分解禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる工事店または大建工業お問い合わせ先にご相談ください。</li> </ul>	<p><b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事は必ず電気工事に依頼する 感電の原因。</li> <li>●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。</li> <li>●お手入れの後の部品の取付けは確実にを行う 落下によりけがの原因。</li> <li>●長期間で使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。</li> </ul>
<p><b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。</li> <li>●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。</li> <li>●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 (異常・故障例) 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。</li> </ul>	

## 2. ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(中性洗剤をご使用ください)  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など  
(異常音の発生、変質、変色や故障の原因)

## 3. 各部のなまえ



## 4. 使用方法

- 運転は壁などに取付けられているスイッチで運転開始と停止を行います。
- 本換気扇は24時間換気(排気用)専用ですので特別な場合(運転異常・点検・お手入れ)を除きスイッチは「入」でご使用ください。

## 5. お手入れ

グリル、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。  
約4か月に1度を目安に清掃してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検(本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください)をお願いします。

## 警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る  
感電・けがの原因。

## 注意

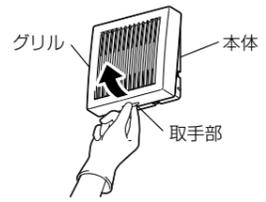
お手入れの際は手袋を着用する  
着用しないとけがの原因。

## お願い

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。  
(異常音発生の原因)

## 1. 清掃部品のはずしかた

グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。



## 2. 清掃のしかた

1. グリルは中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸して汚れを落とし、きれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

## 3. お手入れ後の取付け

1. 取付けは取りはずしと逆の順序で行う。  
**お願い**
  - 本体に表示された「上」の位置を確認してください。
  - グリルの取手部が本体「上」表示の反対側にくるように取付けてください。  
(取付向きを間違えると落下によるけがの原因)
2. 取付け後、次の確認をする。
  - (1) グリルが確実に取付けられていますか。  
グリルと取付面に隙間はありませんか。
  - (2) 運転音や回転動作に異常はありませんか。  
(必ず運転をして確認してください)

## 6. 修理を依頼される前に

- 次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に取付けられていますか 羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか	取付け直します 清掃します
羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
こげ臭いにおいがする	故障です 運転停止してください	工事店へ連絡します
グリルと取付面に隙間がある	グリルの取付向きが間違っていますか	取付け直します

- モーターの軸受は時間が経つにつれ、回転がなじんで音が変わる事がありますが異常ではありません。

## 7. 保証とアフターサービス

DAIKEN24時間換気システム「エアスマート」専用部材のアフターサービスは、工事店が大建工業お問い合わせ先(本説明書末尾)にご連絡ください。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この排気ファンの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■保証書はこの取扱説明書裏面に記載されております。

## 8. 仕様

(電圧100V)

形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
SB1475 (R)	1.8	2.2	70	77	19	22	0.45
SB1485 (R)	4.4	5.1	95	112	27	31.5	0.49

\*特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

## 【本体への表示内容】

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

## 【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。  
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。  
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。  
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります  
【設計上の標準使用期間】15年  
設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

## ■標準使用条件 JIS C 9921-2

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
温度	湿度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿度	65%	
設置条件	標準設置	取付説明書による	
負荷条件	定格負荷	「8.仕様」による	
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 <sup>a)</sup>	
		台所	2410時間/年
		居室	2193時間/年
		トイレ	2614時間/年
		浴室	1671時間/年

注<sup>a)</sup> 24時間換気の場合は、8760時間/年とする。

## 愛情点検

## ☆長年ご使用の換気扇の点検を!



ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。  
(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食、破損などがある。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。  
点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

(材質名は主材料にISO規定の略語を使用。)

## 大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス  
<http://www.daiken.jp/>

## お問い合わせ

サウンドセンター  
東京 TEL(03)6271-7785 大阪 TEL(06)6205-7245  
受付時間: 平日10:00~17:00(土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。)

形名	品名	グリル形状
SB1475 (R)	排気ファン11型 (中風量)	角形格子グリル
SB1485 (R)	排気ファン11型 (大風量)	角形格子グリル

## 取付説明書

工事店様用

この製品は24時間換気システムとしてご使用いただけます。  
取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

**取付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。**

- 取付け、壁穴工事はお買上げの工事店様が実施してください。  
(間違った取付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は居室・トイレ・洗面所に取付けてください。  
それ以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
- 接続パイプは市販品の塩化ビニル管 (VU、VP (呼び径 100 mm)) または  
鋼板管 (内径 100 mm) のいずれかをご用意ください。

## 1. 安全のために必ず守ること ⇒ 梱包箱をご確認ください

## 2. 取付前のお願い

- 高温 (40℃以上) になるところに取付けしないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には取付けしないでください。(故障の原因になります)
- 燃焼機器の排気口の近くには取付けしないでください。(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
- 局所換気部材 (屋外フードなど) は壁厚にあったものを選んでください。  
(壁厚により取付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定してください。  
(詳細は4.取付方法の電気工事をご覧ください)

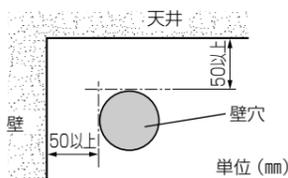
## 3. 各部のなまえと外形寸法図 ⇒ 梱包箱をご確認ください

## 4. 取付方法

### 1 取付前の準備

#### 壁取付けの場合 (壁穴への接続パイプの固定)

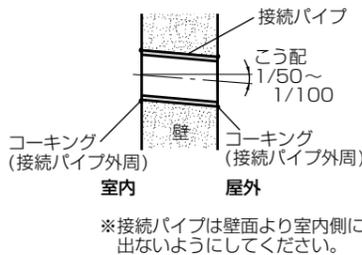
1. 取付場所を決めて壁穴をあける。
  - 右図の壁穴位置をご確認ください。
  - 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉 (VU) と厚肉 (VP) 管および鋼板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
  - 必ず床面より 1800 mm 以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。



#### お願い

- 取付位置は上図の位置になるようにしてください。  
上図の寸法より小さくなりますと製品が取付けられない場合があります。

2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。  
接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
  - 電源電線を室内に引き込んでから (電気工事参照) 行ってください。
  - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
  - 室内へ水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。

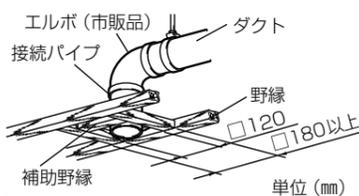


#### お願い

- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

#### 天井取付けの場合 (野縁組立とダクト工事)

1. 下図のように野縁組立をし、ダクト工事をする。



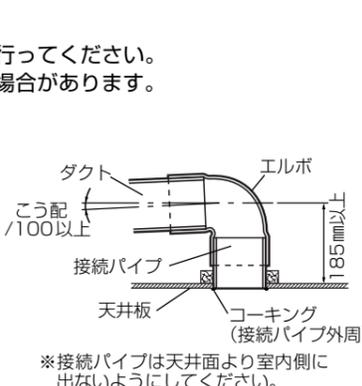
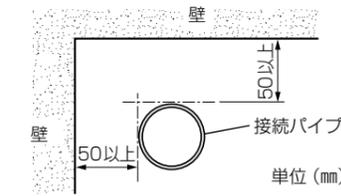
#### お願い

- 接続パイプが壁から上図の位置になるようダクト工事を行ってください。  
上図の寸法より小さくなりますと製品が取付けられない場合があります。

2. ダクトの中心から天井板まで 185 mm 以上離して天井板を張る。
3. エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。
4. 接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。

#### お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



## 2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。
- スイッチはホルムアルデヒド対策のため換気設備は常時運転できるものとしなければなりません。このため、換気システムのスイッチは容易に停止されないものとするのが望まれます。

- (例)
- 常時運転すべきことを指示する注意書きの貼付けのあるもの。
  - 切りボタン (OFF スイッチ) にカバーを設けた構造のもの。
  - 長押しで OFF となる構造のもの。
  - 専用ブレーカーを設ける。

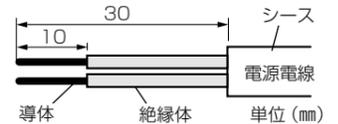
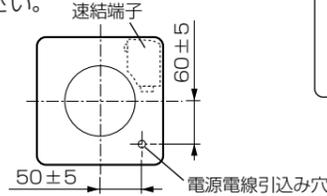
## 警告

- 交流 100V を使用する  
直流や交流 200V を使用すると感電の原因。

## 注意

- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令 (及び同解説)」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う  
接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

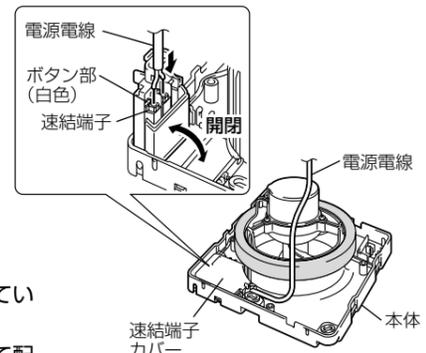
1. 電源電線を下図の位置から室内に引き込む。
  - 電源電線は VVF φ 1.6 または φ 2.0 2 芯をご使用ください。



2. 電源電線の先端を右図寸法に合わせて皮むきする。
  - 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。

## 3 本体の取付け (壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです)

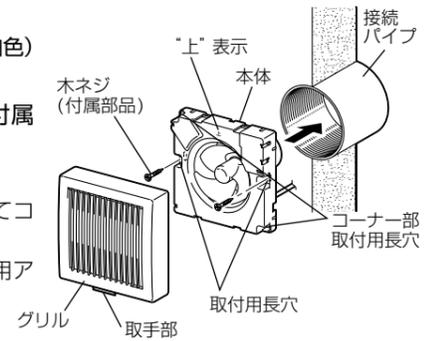
1. 本体からグリルをはずす。
2. 結線をする。  
(電気工事は電気工事士の方が実施してください)
  - ①速結端子カバーを右図のように開ける。
  - ②電源電線を速結端子に差し込む。
  - ③確実に速結端子カバーを元通り閉じる。



#### お願い

- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。  
速結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはず場合は、ボタン部 (白色) を押しながら電源電線を引き抜いてください。

3. 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ 2 本で本体を固定する。
  - 本体の刻印「上」を上側にして取付けてください。
  - 左右の取付用長穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部取付用長穴をご使用ください。
  - 石膏ボードに取付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



#### お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。

4. グリルを本体に取付ける。

#### お願い

- 本体に表示された「上」の位置を確認してください。
- グリルの取手部が本体「上」表示の反対側にくるように取付けてください。  
(取付向きを間違えると落下によるけがの原因)

5. 以上の取付けが終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

## 5. 試運転

- 換気扇が運転・停止するかを確認してください。
- 異常な音・振動などが無いかを確認してください。

### 保証書

本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、お買上げの日から下記の期間中に故障した場合には、工事店にご依頼ください。無料修理をさせていただきます。

- 本書の※印欄に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちに工事店にお申し出ください。
- 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
Effective only in Japan.

形名	保証期間 (お買上げ日より)	本体1年間
※お客様	お名前	年 月 日
	※お買上げ日	
	※工事店名 販社名	
	ご住所 〒	
	工事店名 ※住所 店名	
	電話 ( )	電話 ( )

(無料修理規程)

1. 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合、工事店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島または離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2. ご贈答品等で本書に記載してある工事店に修理をご依頼できない場合には、大建工業お問い合わせ先 (裏面末尾) へご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - (ニ) 本書にご愛用者名、お買上げ年月日、工事店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ホ) 一般用以外 (車両・船舶への搭載など) に使用された場合の故障および損傷。

修理実施日	修理内容	サービス員氏名

◎この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、工事店または大建工業お問い合わせ先 (裏面末尾) にご相談ください。

◎保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間につきましては裏面 (取扱説明書) をご覧ください。